



シンポジウム：HIV 感染症の受入れを阻むものは何か？

謹啓

現在、わが国には約 3 万人の HIV 感染者がいると言われております。幸い、抗レトロウイルス療法の進化により HIV のコントロールができるようになりましたが、HIV 感染症は予後が改善し慢性疾患になったがゆえに、乗り越えなければならない医療・介護上の課題が増えています。そこでこの度、受入れ困難が問題となっている領域の先生方にお集まりいただき、単刀直入にその阻害要因を議論して頂くことにしました。是非、HIV 感染症に関わっておられる医師や医療従事者、行政職の皆様、その他の関係者にお集まり頂き、一緒にお考え頂いて阻害要因のブレークスルーにつなげていきたいと存じますので、よろしくお願ひ致します。

敬白

令和元年12月吉日

世話人 国立国際医療研究センター 腎臓内科 日ノ下 文彦

◆日時 2020年1月11日(土) 午後2時00分～午後5時15分

◆プログラム(予定):

- ・開会の辞 「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」班 横幕 能行 研究班長
 - ・講演 1 「長期療養および介護領域における HIV 感染症受入れの阻害要因」(2:05-2:45 pm)
司会: 千葉大学医学部附属病院地域医療連携部 葛田 衣重 先生
演者: 国立病院機構東埼玉病院医療福祉相談室 武藤 陽子 先生
 - ・講演 2 「歯科領域における全国ネットワーク作りと受入れの阻害要因」(2:45-3:25 pm)
司会: 名古屋医療センター エイズ総合診療部長 横幕 能行 先生
演者: 名古屋医療センター 歯科口腔外科部長 宇佐美 雄司 先生
 - ・休憩
 - ・講演 3 「北海道 HIV 透析ネットワーク作りとネットワーク成功の秘訣」(3:35-4:05 pm)
司会: 国立国際医療研究センター腎臓内科 診療科長 日ノ下 文彦
演者: 北海道大学病院血液内科 診療准教授 遠藤 知之 先生
 - ・講演 4 「全国的な HIV 透析ネットワークの展開と受入れの阻害要因」(4:05-4:20 pm)
司会: 国立病院機構東埼玉病院呼吸器内科部長 堀場 昌英 先生
演者: 国立国際医療研究センター腎臓内科 診療科長 日ノ下 文彦
 - ・パネルディスカッション「HIV 感染症の受入れを阻むものは何か？そしてその解決策は？」
(4:20-5:10 pm) 司会: 日ノ下 文彦
パネリスト: 横幕 能行 先生、葛田 衣重 先生、武藤 陽子 先生、宇佐美 雄司 先生
遠藤 知之 先生、堀場 昌英 先生、つきの森クリニック 栗原 怜 先生
南古谷クリニック 松村 治 先生、友愛日進クリニック 中里 優一 先生
鈴木歯科クリニック 鈴木治仁 先生、国立国際医療研究センター病院 ACC 池田 和子 先生
 - ・閉会の辞 NHO 東埼玉病院呼吸器内科部長 堀場 昌英 先生 (5:10 pm)
- ◆場所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 大宮 2 階大ホール [会場併設の駐車場は限られているので、車でお越しの方は近隣のコインパーキングをご利用ください]

◆受付 ご来場の皆様には会場前でご記帳をお願いします。参加費は無料です。

◆問合せ先 国立国際医療研究センター腎臓内科: 秘書 豊田もしくは診療科長 日ノ下まで
TEL 03-3202-7181(代) E-mail: ctoyota@hosp.ncgm.go.jp

主催: 厚生労働行政推進調査事業「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究班」

【会場アクセスのご案内】



- ・ JR大宮駅西口から出て左側にそごう（SOGO）が見えます。
- ・ アクセス図の赤い点線に沿ってまっすぐそごうの方向へ進んでください。
- ・ 黄色の部分で示している「TKP大宮駅西口カンファレンスセンター」が途中にございますが、会場ではないので、お間違いの無いようご注意ください。
- ・ 会場のTKPガーデンシティ PREMIUM大宮まで徒歩約7分です。

住所 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 4-333-13 OLSビル 2F

TEL 048-640-1381